



報道関係各位

2019年11月29日

ビール酒造組合



2019年度「STOP！ 20歳未満飲酒」プロジェクトについて

ビール酒造組合(会長代表理事:山田 賢治)及び会員であるビール5社(サントリービール(株)・アサヒビール(株)・麒麟ビール(株)・サッポロビール(株)・オリオンビール(株))は、20歳未満の人の飲酒防止を目的として2005年より「STOP！未成年者飲酒」プロジェクトを展開してまいりました。2018年冬より、「STOP！20歳未満飲酒」プロジェクトに名称を変更し、キャンペーンを実施しております。

今回のキャンペーンでは20歳未満飲酒防止を呼びかけるメッセージを作成し、首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市、沖縄県で交通広告を出稿いたします。

また、日本フランチャイズチェーン協会、日本チェーンストア協会、日本ボランティアチェーン協会、日本カラオケボックス協会連合会の協力を得て、各協会の加盟社における店頭・店舗内で20歳未満飲酒防止の告知を推進してまいります。

キャンペーン後に首都圏・関西圏で効果測定を実施しておりますが、前回の調査でも本キャンペーンの認知度は継続して約9割となっており、20歳未満飲酒防止に対する理解促進に関し、確実に成果を挙げております。

■展開メッセージ

「なぜ、20歳未満での飲酒はいけないのか」を、主に20歳未満の人の身体への影響の観点と、20歳未満の人を取り巻く社会の観点からメッセージを作成し展開します。(メッセージは別紙参照)

■主な展開内容

1. 交通広告の実施

全国8エリア(首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市)の電車内、また、沖縄県のバス車内において、20歳未満飲酒防止のメッセージ告知を行っていきます。

2. コンビニエンスストア業界・スーパーマーケット業界・カラオケボックス業界の協力参加

「STOP！20歳未満飲酒」のシンボルマークをデザインしたPOP類を利用し、店頭での告知にご協力いただきます。

<主催> ビール酒造組合

<後援> 国税庁 内閣府 厚生労働省



ビール酒造組合

《メッセージ》

きっぱり、断る。
STOP! 20歳未満飲酒

STOP!
20歳未満
飲酒

「なぜ、20歳未満の飲酒が法律で禁止されているのか？それは私たち10代のだいじなカラダを守るため」という自覚。

STOP! 20歳未満飲酒プロジェクトの事務局は www.stop-underageddrinking.com
STOP! 20歳未満飲酒プロジェクト ※DAIICHI SUITORY Asahi KIRIN 〆Mei 〆ビール酒造組合

「きっぱり、断る。STOP！20歳未満飲酒」

「なぜ、20歳未満の飲酒が法律で禁止されているのか？それは私たち10代のだいじなカラダを守るため」という自覚。

大人が、
すすめない。
STOP! 20歳未満飲酒

STOP!
20歳未満
飲酒

10代の飲酒のリスクを知った。
「まあ、飲めよ」なんて、
絶対に言えなくなった。

STOP! 20歳未満飲酒プロジェクトの事務局は www.stop-underageddrinking.com
STOP! 20歳未満飲酒プロジェクト ※DAIICHI SUITORY Asahi KIRIN 〆Mei 〆ビール酒造組合

「大人が、すすめない。STOP！20歳未満飲酒」

10代の飲酒のリスクを知った。「まあ、飲めよ」なんて、絶対に言えなくなった。

この件に関するお問合せ先：

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区銀座 1-16-7 TEL 03(3561)8386 FAX03(3561)8380

ホームページ <http://www.brewers.or.jp>